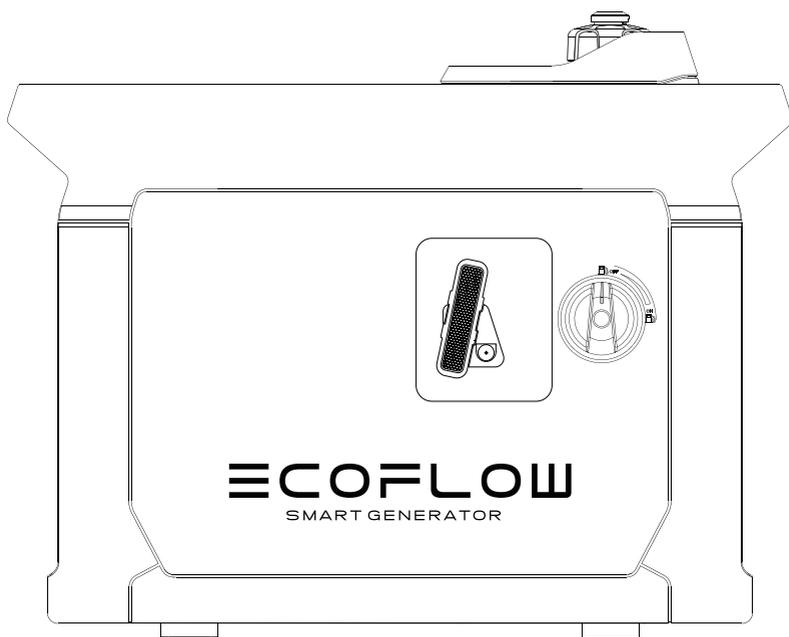


≡COFLOW

EcoFlow スマート発電機 | ユーザーマニュアル



免責事項

製品使用前に本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。誤った取り扱いをすると、お客様ご自身または他者へ重度の傷害を与える可能性や、製品破損故障または財産損失等を引き起こす場合があります。製品を使用した時点で、本ユーザーマニュアル内のすべての条項および内容を理解したうえで同意したものとします。お客様自身の行為およびそれにより生じるすべての結果に対して、EcoFlowは、一切の責任を負わないものとします。法規制に従い、EcoFlowは本ユーザーマニュアルおよび本製品に関連するすべての資料の最終的な解釈の権利を有します。資料の更新、バージョン変更、サービス終了が生じる場合においても、お客様に対して通達を行いませんので、EcoFlow公式Webサイトにアクセスして最新版の製品情報をご確認ください。

目次

1. 安全ガイド	1
1.1 安全に関する指示	1
1.2 安全に関する注意事項	1
1.3 重要ラベル	2
2. スタートガイド	3
2.1 各部の名称	3
2.2 ディスプレイアイコンの説明	5
2.3 製品をご使用になる前に	6
2.4 製品の使用方法	9
--2.4.1 電源を入れる	9
--2.4.2 電源を切る	10
--2.4.3 AC 接続	10
--2.4.4 DC 充電	11
2.4.4.1 DELTA Max/DELTA Pro の充電	11
2.4.4.2 DELTA Max 専用エクストラバッテリーパック/ DELTA Pro 専用エクストラバッテリーパックの充電	12
--2.4.5 アプリの使用方法	12
--2.4.6 用途	13
--2.4.7 特殊要件	13
3. 保守点検と整備	14
3.1 スパークプラグの点検	15
3.2 キャブレタの調整	15
3.3 エンジンオイルの交換	16
3.4 エアフィルター	16
3.5 燃料フィルターストレーナ	17
3.6 マフラー	17
4. 保管と輸送	18
4.1 燃料の排出	18
4.2 発電機の保管	18
4.3 充電式バッテリー	18
4.4 保管後の使用注意	19
4.5 輸送	19
5. 異常表示と対応方法	20
6. スペック	21
7. 配線図	22
8. 同梱物	23

1. 安全ガイド

1.1 安全に関する指示

本書には発電機の安全性に関する情報と正しい使用方法および点検・調整について説明しております。ご使用前に、ユーザーマニュアルおよび発電機に貼付されているラベルをよく読みいただき、正しくご使用ください。ユーザー様および周囲の方々を負傷する可能性のある内容の種類を次の表示で区分して説明しています。

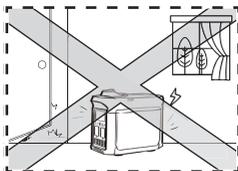
⚠ 危険 誤った取り扱いをすると、死亡または重傷に至るもの。

⚠ 警告 誤った取り扱いをすると、死亡または重傷に至る可能性があるもの。

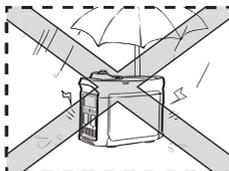
注意 誤った取り扱いをすると、発電機の損傷または物的損害が発生する可能性があるもの。

1.2 安全に関する注意事項

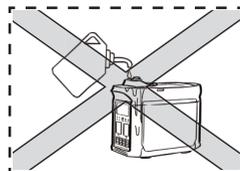
事故防止のため、発電機をご使用になる前に、ユーザーマニュアルをよくお読みください。



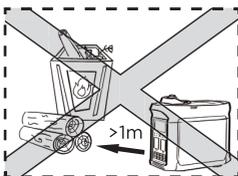
屋内で使用しないでください。またドア、窓、排気口から離してください。



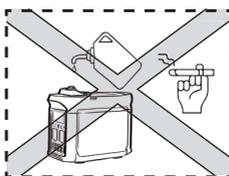
湿気の多い所で使用しないでください。



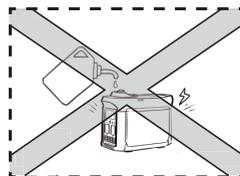
給油時に、燃料をこぼさないでください。



可燃性のものから 1 m 以上離してください。



給油時に喫煙しないでください。



給油前にエンジンを切ってください。

発電機のアース

発電機には、アースシステムが搭載され、発電機の部品をAC出力ポートのアース端子に接続するために使用します。ACのニュートラルに接続されていません。

電気配線への接続

資格を持つ電気工事士によって断路器が設置されていない場合は、発電機を建物の電気配線に接続しないでください。また、発電機の使用に際しては法律や電気規制に従ってください。

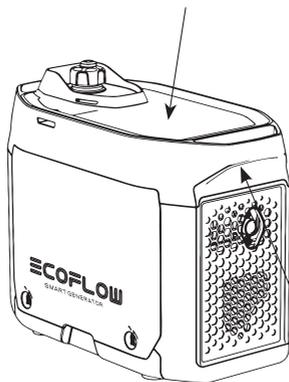
注意

フロントパネル側、マフラー、発電機の底部にある換気口を清潔に保ち、塞がないようにしてください。ごみ、泥、水などが入らないようにしてください。給気口が塞がれると、発電機、コントローラ、エンジンが損傷するおそれがあります。また、他の製品と一緒に搬送、保管、使用しないでください。オイル漏れにより、発電機が損傷したり、火災や人身事故危険にさらされるおそれがあります。

1.3 重要ラベル

運転の前に、発電機に貼付されているラベルをよくお読みください。

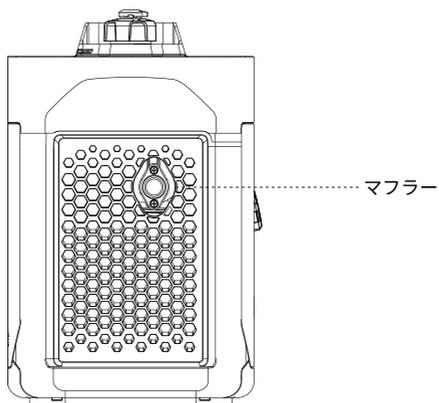
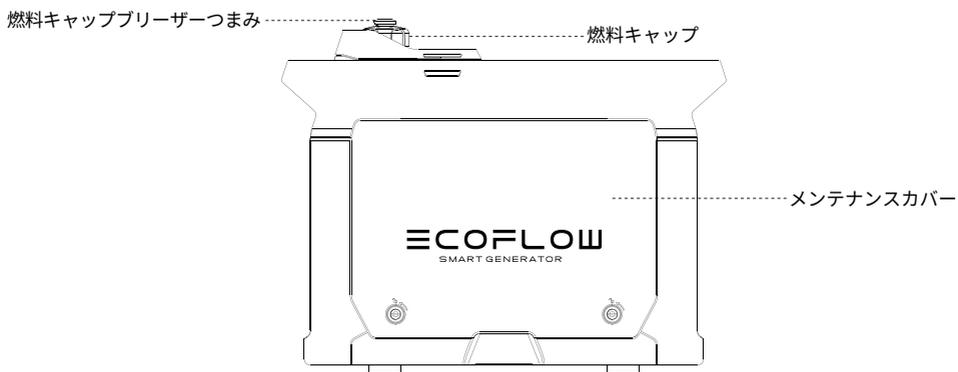
⚠ 警告	
ご使用前に必ずユーザーマニュアルとすべてのラベルをお読みください。	
⚠	排気ガスには一酸化炭素が含まれ、屋内で使用すると数分で死亡するおそれがありますので、換気の悪い場所で運転しないこと。 一酸化炭素中毒のおそれがありますので、CO警報システムに不正な組立を施さないこと。
⚠	感電または物の損傷のおそれがありますので、雨や雪の中、水溜の近くで使用しないこと。 決して水に濡らさないこと。ユーザーマニュアルを参照すること。
⚠	こぼれた燃料をふき取ること。燃料漏れを確認すること。 給油時エンジンを切ること。可燃物の近くで使用しないこと。
⚠	発電機を運転するときは、発電機の周囲をパーティションなどの遮断物で囲わないこと。 発電機に物をかぶせないこと。 発電機の上に物を置かないこと。 エンジンの温度が完全に下がってから、燃料キャップのブリーザーのつまみを「OFF」にすること。
 物的損傷や感電のおそれがありますので、電力会社からの電気配線に接続しないこと。 資格を持った電気工事士によって絶縁スイッチが正しく設置されていない場合は、発電機を建物の電気配線に接続しないこと。	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">⚠ DANGER</p> <p>屋内で発電機を使用すると数分で死亡するおそれがあります。 発電機の排気ガスには、無色無臭の有毒な気体である、一酸化炭素が含まれています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  使用は屋外のみとし、窓、扉、通気口のそばで使用しないこと。 </div> <div style="text-align: center;">  扉や窓を開放しても、室内やガレージ内では決して使用しないこと。 </div> </div> </div> <div style="width: 45%;"> <p>携帯発電機</p> <p>モデル名: EFG100 SKU/型番: GasEB-JP 定格回転数: 5000 rpm 絶縁階級: F 定格電力: 1.8 kW 定格電圧: 100 V 定格電流: 18 A 定格周波数: 50/60 Hz 相: 単相 効率: 1 DC出力: 42 V ~ 58.8 V、32 A 燃料: 無鉛ガソリンタンク 容量: 4.0L</p> <p style="text-align: right;">  <small>MADE IN CHINA EcoFlow Technology Japan株式会社 http://jp.ecoflow.com</small> </p> </div> </div>	

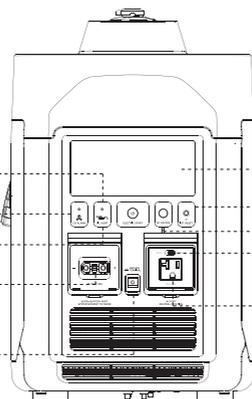


⚠ 警告	
⚠	運転中の本装置から火の粉が排出されることがあるため、枯れ木や枯れ葉が周囲にあると引火のおそれがあります。
⚠	高温の排気ガスでやけどのおそれがあるので、運転中のエンジンに近寄らないこと。
<p>必要に応じてスパークアレスターを取り付けること。必要な防火措置を定めた法律または規制については、管轄の消防機関に問い合わせること。</p> <div style="text-align: center;">  </div>	

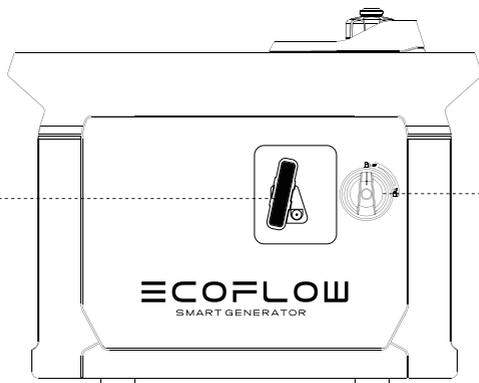
2. クイックスタート

2.1 各部の名称

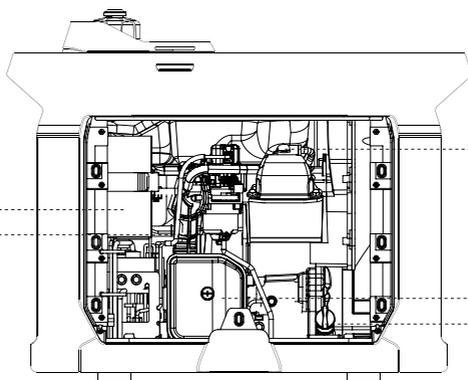




- 電気始動ボタン
- 一酸化炭素警告灯
- エンジンオイル警告灯
- 専用エクストラバッテリーポート (XT150)
- アース端子
- 液晶パネル
- IOTボタン
- AC電源ボタン
- 周波数の切り替えスイッチ
- AC出力ポート



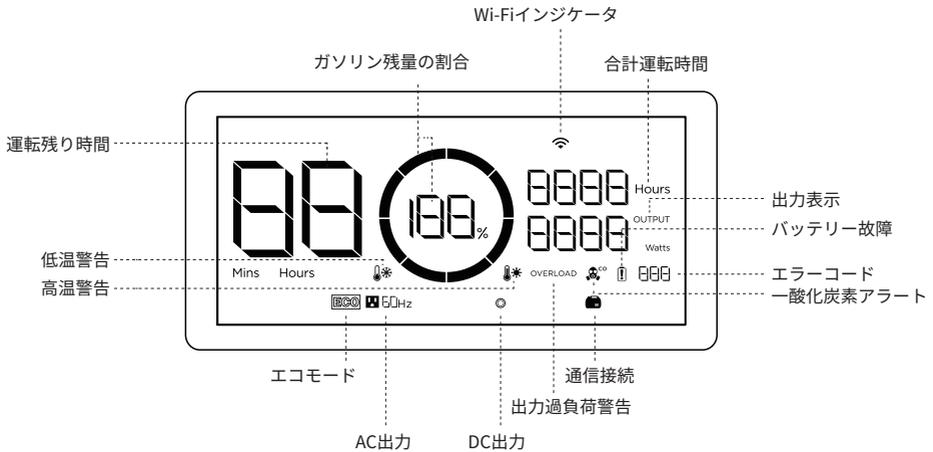
- スタータグリップ
- エンジンスイッチ



- 蓄電池
- オイル抜きボルト
- 点火プラグ
- エアフィルター
- エンジンオイルレベルゲージ

一酸化炭素警告灯:一酸化炭素センサが一酸化炭素の濃度が基準値を超えようであることを検出すると、発電機は自動的に停止し、一酸化炭素警告灯が5分間点滅します。この間は、発電機を起動できません。

2.2 ディスプレイアイコンの説明



ガソリン残量の割合: ガソリン残量が 600ml 以下に下回ると、残量の割合は 0% と表示しアイコンが点滅します。

Wi-Fiインジケータ: IOTボタンを3秒間押すと、ディスプレイのWi-Fiインジケータが点滅します。点滅状態は製品とEcoFlowアプリをペアリングする準備ができていていることを示しています。アプリで製品を使用するには製品と直接Wi-Fi接続する方法と市販のWi-Fiルータを介して接続する方法の2種類があります。直接接続した場合は、アイコンは点滅したままとなり、ルータを使用した場合はアイコンは点灯したままとなります。

エラーコード: エラーコードの詳細については EcoFlow アプリをご参照ください。

エコモード: エコモードでは、オイルの消耗と騒音を減少するため、発電機は出力消費によって運転スピードを自動調整します。EcoFlowアプリでエコモードを設定できます。詳細は「2.4.5 アプリの使用方法」をご確認ください。

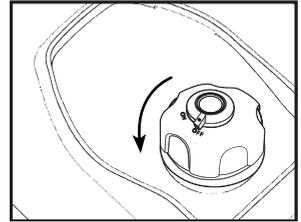
*故障時の表示内容および対応方法の詳細については「5. 異常表示と対応方法」をご確認ください。

2.3 製品をご使用になる前に

給油

⚠ 危険

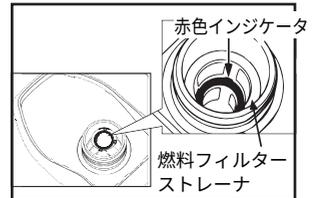
- 燃料は可燃性で有毒なため、給油前に安全ガイドをよくお読みください。
- 燃料タンクが暖まると、燃料が膨張してあふれ出るおそれがありますので、燃料タンクにいっぱいまで注がないでください。
- 給油後は燃料キャップをしっかりと締めてください。



燃料キャップを開ける

注意

- ゴムシエルの損傷を防ぐため、給油後は清潔な柔らかい布で残留油を拭きとってください。
- 有鉛燃料が発電機の部品に深刻な損傷を与えるおそれがありますので、無鉛燃料をご使用ください。
- 給油時、燃料キャップを外して赤色インジケータの位置まで注ぎます。



給油

推奨燃焼: 無鉛ガソリン
燃料タンクの容量: 4 L

発電機のエンジンオイルの追加

注意

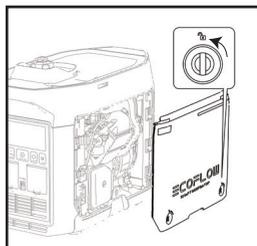
工場出荷時には発電機にエンジンオイルは注入されていません。十分なエンジンオイルを注入してから発電機を始動させてください。エンジンオイルの注入しすぎによる発電機の損傷を防ぐため、エンジンオイルの注入時に発電機を傾けないでください。

1. 水平面上に発電機を置きます。
2. メンテナンスカバーのつまみを「」へ回し、メンテナンスカバーを外します。
3. リッドとオイルレベルゲージを取り外します。
4. 指定量の推奨エンジンオイルを注入し、リッドとオイルレベルゲージをしっかりと閉めます。メンテナンスカバーを取り付け、つまみを「OFF」の位置に回します。

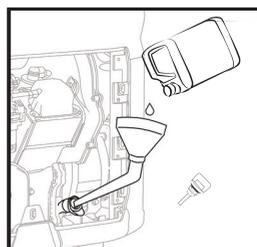
推奨エンジンオイル:SAE SJ 10W-40

推奨エンジンオイルのグレード:API 規格の SJ グレード以上

オイル容量:0.38 L



メンテナンスカバーを外す

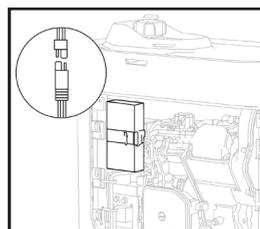


エンジンオイルの補充

充電式バッテリーの接続

内蔵バッテリーに接続しないと、電気始動ボタンで発電機を始動することはできません。

メンテナンスカバーのつまみを「」へ回してメンテナンスカバーを外し、バッテリーのプラス側配線とマイナス側配線をそれぞれ接続します。



プラス側配線とマイナス側配線の接続

使用前の点検

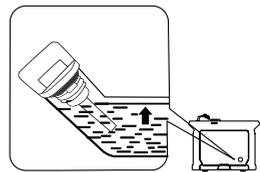
⚠ 警告 毎回発電機を運転する前に、下記の部品を確認してください。

a) 燃料残量の確認

燃料キャップを外し、燃料レベルを点検します。燃料レベルが低すぎる場合は、燃料をタンクに補充します。

b) エンジンオイルの確認

- エンジンオイルの漏れがないことを確認します。
 - エンジンオイルレベルを確認します。オイルレベルが低い場合、エンジンオイルアラームシステムによってエンジンが停止する可能性があります。
1. リッドを緩め、オイルレベルゲージを取り出して、きれいに拭き取ります。
 2. オイルレベルゲージをねじ込まないようにしてオイルフィラーに浸し、オイルレベルを確認します。
 3. オイルレベルが低い場合は、推奨量のエンジンオイルを追加します。
 4. オイルレベルゲージを付け直します。



エンジンオイルレベルの確認

c) 充電式バッテリーが正しく接続されているか確認する

メンテナンスカバーのつまみを「ON」の位置へ回してメンテナンスカバーを外し、バッテリーのプラス側配線とマイナス側配線が正しく接続されているか確認します。

運転中の不具合

発電機運転中の不具合がないか確認し、さらに技術的サポートが必要な場合はEcoFlowアフターサポートへお問い合わせください。

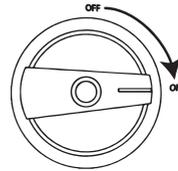
2.4 製品の使用方法

⚠ 危険

- 使用前に安全ガイドラインをお読みください。
- 発電機を密閉空間で使用しないでください。排ガスにより意識がもうろうとしたり、死に至る可能性がありますので、換気のよい場所でご使用ください。
- 発電機を始動する前に、AC 出力ポートに電化製品を接続しないでください。

要点: 発電機は -15 ~ 40 °C で使用します。発電機は、標準大気条件下 (「標準大気条件」- 周囲温度 25 °C - 大気圧 100KPA - 相対湿度 30%) において定格出力で動作します。温度、湿度、および高度が標準大気条件を超えると、発電機の出力は低下します。高温 (35 °C を上回る) 環境で長時間使用すると、発電機と内蔵バッテリーの寿命に影響を与えます。また、狭いスペースで発電機を使用する場合は、発電機の冷却に影響を与えるため、負荷を下げる必要があります。

2.4.1 電源を入れる



1. 燃料キャップリーザーつまみを「ON」の位置に回します

2. エンジンスイッチを「ON」の位置に回します

発電機を始動するには次の 4 つの方法があります。

a) 電気始動スイッチ

電気始動スイッチを長押しすると、発電機が始動します。

要点: エンジンスイッチが「ON」位置にあり、発電機が始動に失敗した場合、バッテリーの電力消費を抑えるために、3 秒後に電力への接続が切れ、表示画面の電源がオフになります。この状況で始動ボタンを押して画面表示を有効にすると、電気始動スイッチが再び有効になります。

b) 手動始動

ラインが張るまで手動スタータグリップを引いてから、力をかけて押します。

要点: 手動で始動するときは、引いて押すプロセス中、発電機を押さえて、斜しないようにすることが必要です。

c) セルフ始動については、2.4.4 項参照

d) アプリによる始動については、2.4.5 項参照

要点: 周囲温度が 0 °C 以下下回る場合、エンジンは始動してから 3 分間ウォームアップする必要があります。その間は負荷をかけないでください。



手動始動

2.4.2 電源を切る

緊急時にエンジンをオフにするには、エンジンスイッチを「OFF」の位置に回します。それ以外の場合は、次の手順に従ってください。

1. すべての電気製品の電源をオフにし、発電機との接続を外します。
2. 発電機の電源を切るには、次の3通りの方法があります。
 - a) エンジンスイッチを使用する: エンジンスイッチを「OFF」の位置に回して発電機の電源を切ります。
 - b) 電気始動ボタンを使用する: 電気始動ボタンを2秒間長押しして、エンジンを停止させます。
 - c) アプリで発電機の電源を切る方法については、2.4.5項を参照してください。

要点: AC出力電源およびDC出力電源をオフにした場合、電力を節約するために10秒経つと発電機の電源は自動的に切れます。

3. 発電機が十分冷えるのを待ってから、エンジンスイッチと燃料キャップブリーザーつまみを「OFF」に回します。

2.4.3 AC接続

1. 地域によって周波数の切り替えスイッチで周波数を変更してから発電機を始動します。
2. 発電機を始動します。
3. プラグをAC出力ポートに差し込みます。
4. 電気製品のスイッチをオンにします。

要点: AC出力のオン・オフは、AC電源ボタンで制御します。複数の負荷や電気製品に電力を供給する場合は、負荷の大きいものから小さいものへ順に始動してください。

警告 プラグを差し込む前に、すべての電気製品の電源をオフにしてください。

注意 発電機に接続する前に、配線やプラグを含め、電気製品が良好な状態であることを確認してください。また、発電機にかかる全負荷が定格容量内であり、負荷電流が定格電流範囲内であることを確認してください。

要点: いずれかの電気製品にアース接続が必要な場合、発電機にもアース接続が必要です。

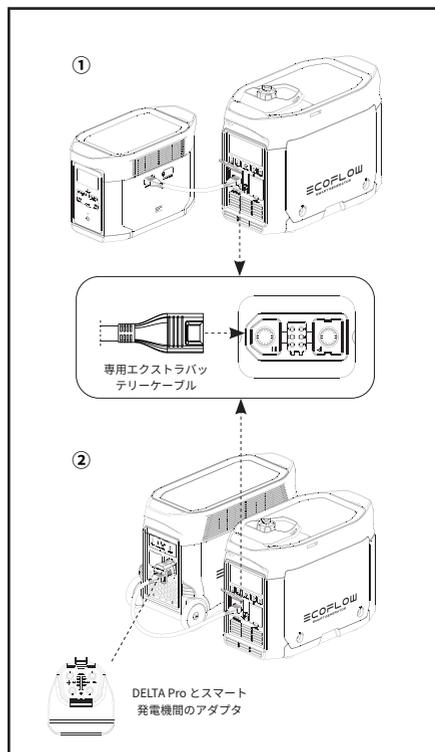
2.4.4 DC充電

2.4.4.1 DELTA Max/DELTA Pro の充電

1. 燃料キャップブリーザーつまみを「ON」の位置に回します(2.4.1 項の手順 1 を参照)。
2. エンジンスイッチを「ON」の位置に回します(2.4.1 項の手順 2 を参照)。
3. 専用エクストラバッテリーケーブルを使用して、DELTA Max①またはDELTA Pro②を接続します*。
4. DELTA Max/DELTA Pro のバッテリー残量が下限値まで落ちると、発電機に充電開始のリクエストが送信されます。発電機が応答し、充電を開始します。

要点: DELTA Max/DELTA Pro のバッテリー残量が下限値まで落ちない場合には、手で発電機を始動して充電を開始します。

5. DELTA Max/DELTA Pro のバッテリー残量が上限値に達すると、発電機に充電停止のリクエストが送信されます。発電機が応答し、DC充電を停止します。



要点: 上限値および下限値はアプリで設定できます。上限のデフォルト値は 100%、下限のデフォルト値は 20% です。

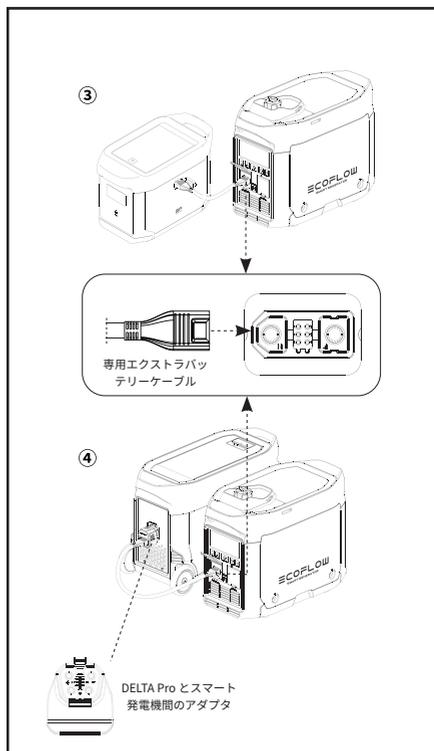
DELTA Max または DELTA Pro を充電しながら使用する場合は、燃料の使用効率を高めるために、上限値を 80% に設定することをお勧めします。DC で充電するときは、AC ボタンをオンにすると、AC 出力を使用できます。DC と AC の総電力は 1800 W です (AC 出力優先の場合)。

*DELTA Pro に接続して充電する場合、DELTA Pro に同梱した発電機変換アダプタをご利用ください。

2.4.4.2 DELTA Max 専用エクストラバッテリー/DELTA Pro 専用エクストラバッテリーの充電

1. 燃料キャップリザーつまみを「ON」の位置に回します(2.4.1 項の手順 1 を参照)。
2. エンジンスイッチを「ON」の位置に回します(2.4.1 項の手順 2 を参照)。
3. 専用エクストラバッテリーケーブルを使用して、DELTA Max 専用エクストラバッテリー③またはDELTA Pro 専用エクストラバッテリー④を接続します*。
4. DELTA Max 専用エクストラバッテリーまたは DELTA Pro 専用エクストラバッテリーの電源をオンにすると、発電機に充電開始のリクエストが送信されます。発電機が応答し、充電を開始します。
5. DELTA Max 専用エクストラバッテリーまたは DELTA Pro 専用エクストラバッテリーが完全に充電されると、発電機に充電停止のリクエストが送信されます。発電機が応答し、DC 充電を停止します。

* DELTA Pro 専用エクストラバッテリーに接続して充電する場合、DELTA Proに同梱した発電機変換アダプタをご利用ください。



2.4.5 アプリの使用方法

EcoFlowアプリにより、本製品の制御や関連情報を確認することができます。
EcoFlowアプリのダウンロードおよび詳細情報に関してはEcoFlow公式Webサイトにてご確認ください。
<https://jp.ecoflow.com/pages/ecoflow-app>



2.4.6 使用範囲

発電機を使用する前に、発電機の総負荷が定格範囲内であることを確認してください。定格範囲を超えると、発電機が損傷するおそれがあります。

用途			
力率	1	0.8 ~ 0.95	0.4 ~ 0.75 (効率 0.85)
出力	≤1800 W	≤1440 W	≤612 W

注意

発電機から、精密計器、電子コントローラ、PC、マイクロコンピュータに電力を供給する場合、機器から発電機を十分離して電磁干渉を避けるとともに、発電機がこれらの電子機器の干渉を受けないようにしてください。発電機を医療機器への電力供給に使用する場合は、対応する機器のメーカーおよび技術者にまずご相談されることをお勧めします。病院内の汎用機械や一部の電子機器の中には、始動時に強い電流を必要とするものがあるので、たとえ個々の始動パラメータが上記表記載の条件を満たしている場合でも、機器メーカーにご確認ください。

2.4.7 特殊要件

警告

- 発電機を移動、保管、操作する際は、側面を下にして置かないでください。エンジンオイルが漏れて、エンジンやお客様の資産を損傷するおそれがあります。
- 発電機の使用目的に応じて、現地の法律や規制が適用される場合があります。詳細については、専門の電気工事士、電気検査員、または管轄の地方自治体にご相談ください。
- 地域によっては、発電機を地域の電力会社に登録する必要があります。
- 発電機を建設現場で使用する場合は、規制の対象となる場合があります。

3. 保守点検と整備

安全にご使用いただくためには、適切な保守点検と整備が必要です。これは、環境への影響を最小限に抑えることにもつながります。

発電機を最適な状態に保つためには、以下に基づき、定期的に点検と整備を行う必要があります。

項目		保守点検の時期			
		毎回	最初の1か月以内、または20時間以上の使用後に実施	それ以降は、3か月に1回、または50時間ごとに実施	その後、1年に1回または100時間の使用ごとに実施
発電機用エンジンオイル	点検 - 補充	●			
	交換		●	●	
エアフィルターエレメント	点検 - 補充	●			
	清掃		●		
	交換			●	
セディメントボウル	清掃				●
スパークプラグ*	清掃 - 調整				●
スパークプラグアレスタ	清掃			●	
アイドル回転数**	点検 - 調整				●
バルブクリアランス**	点検 - 調整				●
燃料タンクと燃料フィルター**	清掃				●
燃料パイプ*	点検	2年ごと(または必要に応じて交換)			
シリンダヘッド、ピストン	カーボン付着物の除去**	300時間ごと			
* これらのアイテムは、必要に応じて交換してください。					
** これらのアイテムは、場合によっては、各ディーラーの修理が必要となります。					

注意

- 高温または高負荷で運転する場合、エンジンオイルの交換は25時間ごとに行ってください。
- ほこりの多い環境や過酷な環境で作動する場合は、エアフィルターエレメントの清掃は10時間ごとに行ってください。必要に応じて25時間ごとに交換してください。周期はと時間のどちらか早い方で点検を実施してください。
- 保守点検時期を経過後、上記の表に応じて保守点検を速やかに実施してください。

⚠ 危険

メンテナンスを開始する前に、発電機の電源を切ってください。発電機を水平な場所に置き、スパークプラグキャップを外して、発電機が作動しないようにします。

部屋、鉄道トンネル、洞窟などの換気の悪い場所で発電機を使用しないでください。作業場所は必ず十分な換気をしてください。発電機の排気ガスには、有毒な一酸化炭素が含まれています。これらのガスを吸い込むと、ショック状態に陥り、意識を失い、死に至る危険性もあります。

3.1 スパークプラグの点検

スパークプラグは発電機の重要な部分であり、定期的に点検する必要があります。

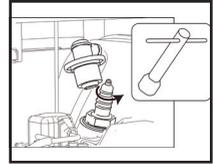
1. メンテナンスカバーのつまみを  に回して、メンテナンスカバーを外します。
2. スパークプラグキャップを外します。
3. スパークプラグソケットを使用し、反時計回りに回転させてスパークプラグを取り外します。
4. スパークプラグが退色していないか確認し、カーボン付着物を取り除きます。良好な状態であれば、スパークプラグの中心電極の周りの磁器の中心は、中度の薄茶色になります。電極は、磨耗している場合、または絶縁体が剥がれている場合、亀裂がある場合、または汚れている場合に交換する必要があります。
5. スパークプラグの型式と十分なクリアランスがあるかどうかを確認します。必要に応じて、クリアランスを調整します。

標準スパークプラグ:A5RTC

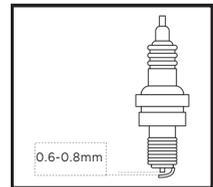
スパークプラグのクリアランス:0.6~0.8 mm

要点:スパークプラグのクリアランスの高さが適切でないと、エンジンが破損するおそれがあります。

6. 13.5±1.5 Nmのトルクでスパークプラグを付け直します。
要点:トルクレンチを使用しないで取り付ける場合は、きつく締まるまで締めてから、さらに1/4~1/2回転させて締めることをお勧めします。
7. スパークプラグキャップをスパークプラグに付け直します。
8. メンテナンスカバーを付け直します。



スパークプラグの
取り外し



スパークプラグの
クリアランス

3.2 キャブレタの調整

キャブレタはエンジンの重要な部分であり、正しく調整するためには専門的な知識、データ、設備を持つディーラーにより調整する必要があります。

海拔が高い地域での使用

海拔が高い地域では、気圧の影響で標準キャブレタの吸入空気量が減少することがあります。そのため、パフォーマンスが低下したり、燃料消費量が増えたりする可能性があります。さらに、混合物がスパークプラグを汚染し、始動困難に陥る可能性があります。海拔 914メートル以上の地域に運転する場合、排出ガスの排出量が増やす可能性があります。

キャブレタを調整することで、高地性能を向上させることができます。常に高度 914メートル以上の場所で発電機を運転する場合は、キャブレタを調整できる専門店にご相談ください。調整したキャブレタは高地で使用した場合、(発電機の使用寿命以内であれば)すべての排ガス規制を満たすことができます。

3.3 エンジンオイルの交換

▲ 警告 発電機の電源を切った直後に、エンジンオイルを排出しないでください。油温が非常に高くなります。油を抜くときに火傷しないように注意してください。

1. 発電機を水平に置き、始動し、数分間稼働させて温度を上げます。次に、オフにします。エンジンスイッチと燃料キャップブリーザーつまみを「OFF」にします。
2. メンテナンスカバーのつまみを「」に回して、メンテナンスカバーを外します。
3. リッドとオイルレベルゲージを取り外します。
4. 発電機の下にオイルパンを置き、発電機を傾けます。オイルはすぐに排出されます。

要点: エンジンオイルの不適切な廃棄は、環境に害を及ぼす可能性があります。ご自身でエンジンオイルを交換される場合は、使用済みのオイルを適切に処理してください。使用済みオイルは密閉容器に入れて保管し、最寄りのオイルリサイクルセンターにて廃却してください。ゴミ箱や地面、下水道には流さないでください。

5. 発電機を元の水平状態にします。

注意 エンジンオイルの注入時に、発電機を傾けないでください。エンジンオイルの注入しすぎにより発電機が損傷するのを防ぐためです。

6. 適切なレベルまでオイルを補充します。
7. オイルレベルゲージをきれいに拭き、こぼれたオイルを除去します。

▲ 警告 エンジンの内部に異物が入らないようにします。

8. オイルレベルゲージとリッドを締めます。
9. メンテナンスカバーを取り付け、つまみを「OFF」の位置に回します。

3.4 エアフィルター

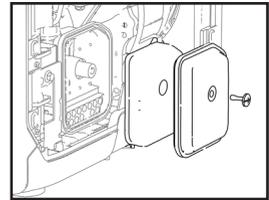
1. メンテナンスカバーのつまみを「」に回して、メンテナンスカバーを外します。
2. ネジとエアフィルターカバーを外します。
3. フォームフィルターエレメントを取り外します。
4. フォームフィルターエレメントを石鹼水または不燃性溶剤で洗浄し、乾燥させます。
5. フォームフィルターエレメントにオイルを補充し、余分なオイルを絞り出します。フォームフィルターエレメントは湿っている必要がありますが、オイルが垂れない程度にしてください。
6. フォームフィルターエレメントをエアフィルターに装着します。

要点: a. フォームフィルターエレメントの表面が、エアフィルターに隙間なく密着していることを確認してください。

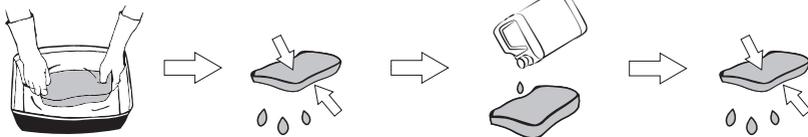
b. エアフィルターを装着する前に発電機を始動しないでください。有毒ガスが発生したり、異物がエンジンに入ったり、エンジンプロックが摩耗したりするおそれがあります。

7. エアフィルターカバーを元の位置に取り付け、ネジを締めます。
8. メンテナンスカバーを取り付け、つまみを「OFF」の位置に回します。

注意 フォームフィルターエレメントをねじらないでください。損傷する可能性があります。



エアフィルターカバーを外す



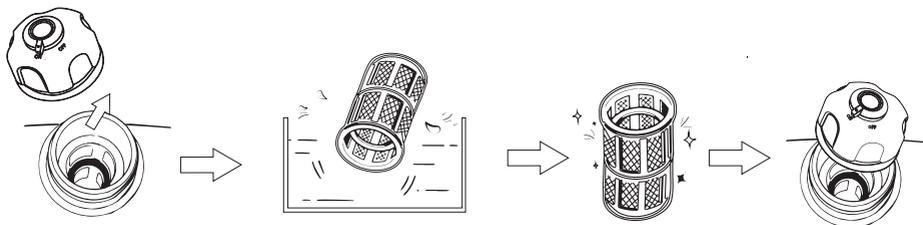
石鹼水または不燃性溶剤で洗浄してください。

曲げずに押して乾燥させてください。

オイルを注入します。

曲げずに押して余分なオイルを取り除いてください。

3.5 燃料フィルターストレーナ



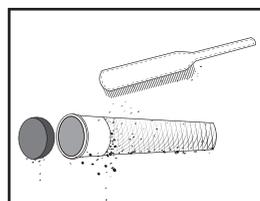
1. 燃料キャップと燃料フィルタースクリーンを外します。
2. 燃料フィルタースクリーンを燃料で清掃します。
3. フィルタースクリーンを拭いて、燃料に戻します。
4. 燃料キャップを装着します。

警告 煙や炎の近くでは、絶対に燃料を使用しないでください。

注意 燃料キャップを確実に締めてください。

3.6 マフラー

1. ボルトを外します。
2. マフラーキャップ、マフラーブロック、スパークプラグアレスタを外します。
3. マフラーブロックやスパークプラグアレスタに付着したカーボンをスチール製のワイヤーブラシで優しく清掃し、マフラーブロックやスパークプラグコレクタに損傷を与えないようにします。
4. マフラーブロックやスパークプラグアレスタが破損していないか点検し、破損している場合は交換します。
5. パーツを順番に装着していきます。



カーボン付着物を取り除く

警告 発電機が動き出すと、エンジンとマフラーが高温に熱くなります。点検・整備の際には、肌や衣服がエンジンやマフラーに直接触れないようにしてください。

4. 保管と輸送

発電機を長期保管する場合は、早期劣化を防ぐためにいくつかの保管措置を取る必要があります。

4.1 燃料の排出

1. エンジンスイッチを「OFF」の位置に回します。
2. 燃料キャップを開け、燃料フィルタースクリーンを取り出し、燃料タンクから仮設燃料タンクに燃料をすべて排出し、燃料キャップを再び取り付けます。
3. 発電機を始動します。残りの燃料は、約 20 分で使い切ってしまうます。燃料がなくなると、発電機はオフになります。
 - 発電機に電気製品を接続しないでください。
 - 発電機が稼働する時間は、燃料タンク内の燃料の残量によって異なります。
4. メンテナンスカバーのつまみを  に回して、メンテナンスカバーを外します。
5. キャブレタのオイルドレンボルトを緩めて外し、キャブレタの燃料を仮設燃料タンクに排出します。
6. エンジンスイッチを「OFF」の位置に回します。
7. オイルドレンボルトをねじみ、締め付けます。
8. メンテナンスカバーを取り付け、つまみを「OFF」の位置に回します。
9. エンジンが完全に冷えてから、燃料キャップのプリーザーバルブつまみを「オフ」にします。

警告 燃料は非常に揮発性が高く有毒であるため、取り扱い方法について「安全ガイド」をよくお読みください。

注意 こぼれた燃料は、プラスチックシェルを傷つけないように、清潔な柔らかい布で拭き取ってください。

4.2 発電機の保管

エンジン本体やピストンリングなど、腐食しやすい部品を保護するために、以下の手順を実行してください。

1. スパークプラグを取り出し、10 mL のエンジンオイルを注入し、スパークプラグを再度取り付けます。そして、スタータグリップを数分間引いて、エンジンオイルがシリンダブロックを完全に潤滑できるようにします。
2. スタータグリップがきつく締まるまで引きます（シリンダブロックとバルブが錆びないようにするため）。
3. 発電機の表面をきれいに拭き、風通しの良い場所に置き乾燥させ、カバーをかけます。

4.3 充電式バッテリー

長期間保管する際には、その都度バッテリーを外し、再度使用する際にバッテリーを再接続してください。

注意: バッテリーは 3 か月に一度、充電と放電を行う必要があります。バッテリーはエンジンが稼働している間に充電されます。

4.4 保管後の使用注意

燃料タンクとキャブレターに燃料が残っている状態で発電機を保管する場合は、再使用する前に、必要に応じて下の表の整備を行います。

保管期間	推奨整備手順
1か月以内	準備不要
1～2か月	燃料を排出し、新しい燃料を注入します
2か月から1年	燃料を排出し、新しい燃料を注入します
	キャブレターのドレンカップから燃料を排出します①
	セディメントボウルから燃料を排出します②
1年以上	燃料を排出し、新しい燃料を注入します
	キャブレターのドレンカップから燃料を排出します①
	セディメントボウルから燃料を排出します②
	保管場所から移動した後は、元の燃料を適切な保管容器に排出し、新しい燃料を注入してから始動してください。

①オイルドレンボルトを外し、キャブレター内の燃料をすべて排出します。適切な容器に燃料を排出し、オイルドレンボルトをねじ込み締めます。

②エンジンスイッチをオフにした後、セディメントボウルを取り外し、ボウル内のガソリンを空にして、セディメントボウルを再び取り付けて締めます。

4.5 輸送

注意

- 発電機を移動、保管、操作する際は、側面を下にして置かないでください。エンジンオイルが漏れて、エンジンやお客様の資産を損傷するおそれがあります。
- 発電機を長時間作動していた場合は、輸送車両に載せる前に発電機を冷ましてください。高温のエンジンや排気ガスは火傷を引き起こすおそれがあり、特定の材料が発火するおそれがあります。輸送中に燃料が漏れるのを防ぐために、発電機は標準作動位置で垂直に置き、エンジンスイッチと燃料キャップブリーザーつまみを「OFF」の位置に回します。
- 発電機を輸送中に落下させたり、衝撃を与えたりしないように注意してください。

5. 異常表示と対応方法

異常内容	異常表示	異常タイプ	原因	対応方法
始動できない		燃料システム	燃料キャップのプリーザーバルブのつまみが「OFF」の位置にあります	燃料キャップのプリーザーバルブのつまみを「ON」にします
			エンジンスイッチが「OFF」になっています	エンジンスイッチを「ON」にします
			燃料が残っていません	給油
			発電機セットが適切に保管準備されていなかったり、ガソリンが排出されていないかたり質の低い燃料が注入されている。	燃料タンクとキャブレタを空にして、新しい燃料を充填します
			燃料フィルターが詰まっています。キャブレタの故障、点火不良、バルブの固着など	発電機セットをサービスディーラーに送るか、整備マニュアルを参照してください
	オイルアラートインジケータ点灯	エンジンオイルシステム	エンジンオイルレベルが低いです。エンジンオイル警報システムにより、エンジンが停止してしまうことがあります	エンジンオイルの補充
		電気システム	スパークプラグの不良、汚れ、クリアランス不良	クリアランス調整またはスパークプラグの交換
			スパークプラグが燃料で湿っています（エンジン外にこぼれている）	スパークプラグを空気で乾燥させ、再装着します
	オイルアラートインジケータ点灯		通信障害	発電機セットをサービスディーラーに送るか、整備マニュアルを参照してください
			バッテリーの電力が不足しているか、バッテリーが損傷しています	手で引っ張ってバッテリーを始動するか、交換します
	規定の基準値を超えるCO	換気不良	発電機を停止し、換気を良くします	
出力なし		AC過負荷保護	負荷に関する問題	問題のある負荷を取り除き、停止させて再始動します
		DC過負荷保護	負荷に関する問題	問題のある負荷を取り除き、停止させて再始動します
		高温保護	吸気口が詰まっている、周囲温度が高すぎる、または負荷が高すぎます	吸気口を点検する、高温環境を避ける、または負荷を下げます
		バッテリーの過熱	吸気口が詰まっている、周囲温度が高すぎる、または負荷が高すぎます	吸気口を点検する、高温環境を避ける、または負荷を下げます

通信障害:通信障害は、次の2つの特定の状況で発生する可能性があります。

- 1) 通常の障害:発電機が DELTA Max または DELTA Pro に接続されている場合、発電機がスリープモードになると、通信障害が発生します。この場合、ボタンを押して発電機を起動すると、通信障害はなくなります。
- 2) 異常な障害:発電機が起動した後、または発電機が稼働中に通信障害がなくなる場合、本発電機の問題が原因で障害が発生した可能性があります。

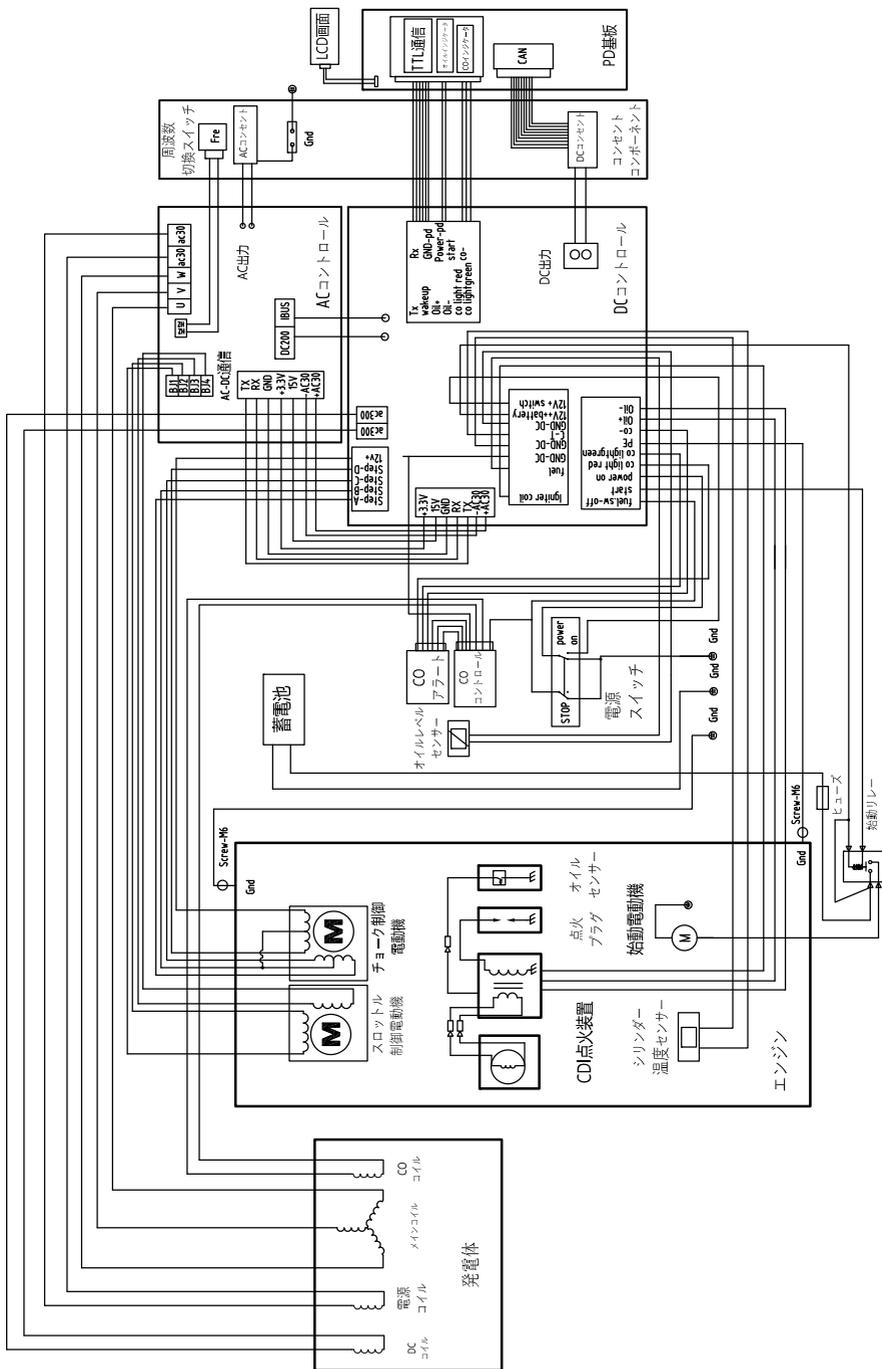
本製品の使用中に警告通知が表示された場合、製品の再起動を行ってください。再起動後も依然として警告アイコンが表示されている場合は、すぐに使用を中止してください(充放電を行わないでください)。

以上の内容に従って対処しても、なお異常がある場合はEcoFlowアフターサポートへお問い合わせください。

6. スペック

装置一式	サイズ	597×296×475 mm
	重量	29.3 kg
発電機	タイプ	インバーター
	周波数	50/60 Hz
	定格電圧	100 V
	定格電力	1800 W (サージ 1900 W)
	力率	1
	DC 出力電圧	42 ~ 58.8 V
	最大 DC 出力電流	32 A
	エンジン	モデル名
タイプ		シングルシリンダ、4 ストローク、強制空冷、オーバーヘッドバルブ
排気量		79.7 CC
使用燃料		無鉛燃料
燃料タンク容量		4 L
エンジンオイル容量		0.38 L
連続運転可能時間		3.5 H(定格負荷)
騒音(7m範囲内)		56-67 dB(定格負荷)
点火プラグ		A5RTC(TORCH)
スタートモード		電動スタート

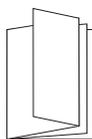
7. 配線図



8. 同梱物



スマート発電機



ユーザーマニュアル
& 保証書



専用エクストラバッテリー
ケーブル



オイルファンネル



ドライバー



点火プラグソケット



ブレードカバー



スパナ